

2019年度 第2回細胞検査士会役員会議事録案

日時：2019年11月15日(金) 15:00～16:00

場所：岡山コンベンションセンター 2階 レセプションホール

出席者：

【会長】伊藤仁

【副会長】小松京子，阿部仁

【幹事】平田哲士，仲村武，棚田諭，原田仁稔，三宅真司，遠藤浩之
澁木康雄，加戸伸明，横山俊朗，山城篤，古田則行，阿部英二
田路英作，安達博成，及川洋恵，片山博徳，河村憲一，木下勇一
小林幸弘，小山芳徳，羽原利幸，藤井和晃，藤岡学，南部雅美
丸田淳子，三浦弘守，有田茂実，今枝義博，岸本浩次，土田秀
姫路由香里，藤田勝，町田知久，松本慎二

【監事】石井保吉，鳥居良貴

欠席者：河原明彦，柿沼廣邦，笹井伸哉，服部学，廣井禎之，丸川活司

会の成立：役員45名中39名出席，委任状提出6名で会が成立した。

議長：伊藤会長が平田総務委員長を指名。

議事録作成：棚田諭，町田知久

議事録記名人：伊藤仁，石井保吉

会長挨拶

第59回日本臨床細胞学会秋期大会の学会長を務める。テーマは「細胞診の真価と進化」。2020年11月21日～22日，パシフィコ横浜ノースで開催する。多くの会員に参加していただくように，役員に協力が要請された。

I. 議事録確認

2019年度第1回細胞検査士会役員会議事録，2019年度細胞検査士会定時総会議事録を確認した。

II. 報告事項

議案書IV. 報告事項の内容で報告があった。

III. 議案

第1号議案：細胞検査士会2020年度事業計画及びこれに伴う予算書。

国際委員会の220,000円から620,000円に増額した予算案の再提出を含めて，2020年度事業計画及びこれに伴う予算書を承認した。

IV. 確認・検討事項

1. がん検診委員会（渉外委員会小委員会）設置に関する取り決め案について内規を確認した。名称は「がん検診委員会に関する渉外委員会内規」とした。

2. 正会員を増やすための対策（あり方委員会）
記述式アンケート結果について、次々号の会報67号で公開する。
新会員の合格通知・入会手続き書類を確認し、通常とおりに記入すれば正会員を選ぶような形にしたい。また、細胞検査士養成施設に正会員を選ぶ啓発活動をお願いするなど対策を検討中である。

3. 議事録作成について
議事録作成要綱に従い要旨をまとめて作成することを確認した。
異議があれば議事録作成要綱の変更が必要。その際、変更案を提示して議論する。

4. 役員選挙実施要綱について
来年度、役員選挙が行われる。
役員選挙実施要綱案に対し変更案があれば、メーリングリストで提案する。

V. その他

正・準会員の割合や推移について、都道府県単位で報告する。

以上

2020年度事業計画及びこれに伴う予算書について意見・質問

渉外委員会のリーフレットは改訂して第4版を発刊する。

伊藤会長が学会長を務める、第59回日本臨床細胞学会秋期大会に支援金100万円の予算を計上されているが、日本臨床細胞学会の承認を得るべきではないか。

小松副会長、石井監事が理事会で支援金について説明し、承認を得るようにする。細胞検査士が学会長の場合は継続的にこの予算が適用されるのか。

継続的ではなく、今回限りである。

国際委員会の予算案について、第59回日本臨床細胞学会秋期大会において台湾・韓国の細胞検査士と合同でプログラムを計画するためには予算を増額してはどうか。

昨年度予算に準じたが、ジョイントミーティングの成功に向けて、前回行われた福岡学会の60万円の例を鑑み、今回は50万円程度増額した予算案を再提出する。

予算案を修正し、ホームページに議案書を掲示する。

がん検診委員会設置に関する取り決め案について意見・質問

内規はホームページへ掲示しない。変更がある場合のみ役員会で審議する。

正会員を増やすための対策について意見・質問

正・準会員を技師会員という名称で、同一会費で統一してはどうか。

変更には日本臨床細胞学会の理事会に諮る必要がある。

非常勤の細胞検査士からは、会費の安い準会員は助かるとの意見を聞く。

また、新入会の細胞検査士に準会員を勧める会員もいると聞く。

どのような活動をしたら正会員が増えるかを考えることが重要。

何故、正会員が良いのかを地道に活動する必要がある。

教育セミナーで正会員になることの重要性について取り上げてはどうか。